

現状

1 被保険者の状況

- 被保険者数は減少傾向
H23:16.5万人→H27:15.2万人
- 前期高齢者の割合が高い
H27:全体の48.4%、全国2位

2 医療費の動向

- 医療費総額、1人あたり医療費とも増加傾向
H27 総額：対前年度2.7%増
1人あたり：5.8%増
- 1人あたりの医療費の県内格差は、最大で約1.4倍

3 財政の状況

- 被保険者が3,000人未満の小規模な保険者の割合が高い
19市町村のうち9町村、全体の47.4%
- 基金繰入金等を除いた単年度収支は、15市町で赤字

4 保険料(税)の状況

- 収納率は全国1位
県:95.5%、全国:91.5%
- 県内市町村の収納率は、94.0%から100%
- 1人あたりの保険料(税)額の県内格差は、最大で約1.5倍

5 保険給付の状況

- 療養費等の給付手続きなどが煩雑で、市町村は制度の運用に苦慮している状況

6 医療費適正化の取組

- 特定健診の受診率や後発医薬品の使用促進等の取組については、市町村毎にばらつきがある
特定健診 県平均:43.4%
全国:36.3%
県内受診率:33.5%
～69.0%

取組の方針

1 基本的事項

- 運営方針に基づき、県と市町村、国保連が一体となって保険者事務を共通認識の下で実施し、事務の広域化・効率化、医療費の適正化の取組を推進
- 対象期間は、平成30年度から平成35年度までの6年間
- 3年毎に検証し、必要に応じて見直す

2 国保の医療に要する費用及び財政の見通し

- 県は、市町村から国保事業費納付金を徴収し、国庫負担金等とあわせて、保険給付費の財源とする
- 収支均衡を原則とし、県が必要以上に黒字を確保することのないよう、バランスよく財政運営
- 県は、財政安定化基金を運用し、災害等の特殊事情に該当する場合、対象市町村に交付

3 納付金及び標準的な保険料(税)率の算定方法

- 医療費水準や保険料水準の市町村格差が大きいまま、直ちに保険料率を統一することは困難
- 当面は、各市町村の医療水準を反映した保険料率とし、将来的には一本化を目指す
- 納付金制度の導入に伴い、一部の市町村の保険料が大幅に高くなった場合、激変緩和措置を講じる（H30年度から6年間）

4 保険料(税)の徴収の適切な実施

- 保険者規模別に4つの区分を設け、過去3年間の現年度収納率を基に算定した平均収納率を収納率目標として設定
- 各市町村の取組を支援するため、これまで国保連を中心に実施している収納担当職員に対する研修会やアドバイザーの派遣事業を活用

5 保険給付の適切な実施

- 保険給付は、国保の都道府県化後も市町村の役割
- 保険給付の事務が法令に基づく統一的なルールに従って確実に実施されるよう改めて徹底
- 必要な人に必要な保険給付が着実に提供できるよう事務処理ルールの標準化等の取組を推進
(第三者求償や過誤の調整、高額療養費の多数回該当の取扱い等)

6 医療費の適正化の取組

- 医療費適正化の取組の底上げ、好事例の横展開を県と市町村が一体となって積極的に取り組む
- データヘルス計画に基づく保健事業の実施など、市町村毎にデータに基づく現状をふまえた取組を推進し、県は各市町村の特徴の見える化の検討や積極的に市町村へ助言等を行う
- 島根県医療費適正化計画に基づき、地域差縮減に資すると考えられる取組を推進
(重症化予防、重複頻回受診者等の訪問指導など)

7 事務の広域的及び効率的な運営の推進

- 統一できる事務等は可能な限り統一
- 被保険者サービスの向上に関係するものを優先的に検討
(被保険者証と高齢受給者証との一体化、一部負担金や保険料の減免基準の見直しなど)
- 都道府県化後において、国保担当職員の事務軽減をより進めていくために有効な仕組みや取組について、県と市町村間で引き続き検討

8 保健医療サービス等に関する施策との連携

- 国保においても前期高齢者の健康管理や疾病・介護予防など、地域包括ケアの構築に資する取組を、市町村や地域包括支援センター等と連携し、積極的に関与
- 国保データベース(KDB)システム等を活用し、被保険者の現状把握やデータに基づく保健事業の実施
- 島根県医療費適正化計画、島根県保健医療計画、島根県介護保険事業支援計画等、県の各種計画との整合性を確保

9 施策実施のための体制

- 国保運営上の重要な事項は、島根県国民健康保険運営協議会で審議のうえ決定
- 関係市町村相互間の連絡調整を図るため、島根県市町村国保広域化等連携会議を定期的開催
- 運営方針に掲げる取組等が着実に実施できるよう、医師会、歯科医師会、薬剤師会、保険者協議会など関係団体との連携を強化

島根県全体として「安定的な財政運営」と「効率的な事業運営」を確保